

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども発達支援センター愛		
○保護者評価実施期間	令和6年11月15日	～	令和6年12月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	令和6年11月15日	～	令和6年12月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種による支援体制により、様々な視点で連携して子どもと家族を支えることができます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各クラスに多職種の職員を配置することで、子どもの支援を多面的に行っています。</li> <li>自分のクラス以外の子どもや保護者にも、積極的に声をかけるようにしています。</li> <li>毎月、全体会議やケース会議などで情報共有し、園全体で支援に繋がるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内外の講師によるコンサルテーションにより、日々の療育や職員の資質向上を目指していきます。</li> </ul>
2	保護者支援として、「ロバのみみ会」(勉強会、リフレッシュなど)や茶話会を定期的で開催し、保護者同士の繋がりや子どもの理解などについて学べる機会を作っています。また、就学に関する講演会なども行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ロバのみみ会」では、きょうだい児も預かることで、保護者が学びを深められるようにしています。</li> <li>就学を保護者と職員と一緒に考えることで、少しでも不安を和らげられるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者から希望する研修内容を募り、より学びを深めたり、学べる機会を作っています。</li> </ul>
3	隣接する同法人の保育所のホールや園庭を共有したり、行事と一緒に進むなどの交流があります。統合保育を行っている保育所なので、特性のある子どもと健常児と一緒に過ごす様子も見られます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の時に交流できず、これまでの交流の仕方を見直しながら、職員の意識改革をし、同年齢の交流や行事の交流の仕方を工夫しています。</li> <li>集団への参加が苦手な子どもにも、様子を見せたり、短い時間での参加を促したりするなど、子どもに合わせた交流を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所の職員との交流を充実にいき、子ども理解に繋がっていきます。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	経験年数が短い職員が多いため、職員の資質向上を目指しています。そのため、療育の質や保護者対応などに課題を感じています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験ある職員の異動や退職などにより、大幅な職員体制の変化があったためと考えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内外の研修に参加し、自己研鑽に努める必要があります。また、経験ある職員からの助言やアドバイスをを行い、子どもや保護者の支援に努めます。</li> </ul>
2	児童発達支援センターとして、地域の児童発達支援事業所との連携や山口市唯一のセンターとしての役割ができていくか、課題を感じています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の退職や法人内異動により、施設内職員構成が変わったためと考えられます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>併行利用している子どもの情報共有をしたり、関係機関連携会議などを積極的に開催していきたいと考えています。</li> <li>保育所等訪問支援や巡回支援などを積極的に行えるよう、職員の資質向上を目指します。</li> </ul>
3	各部屋や施設全体の使い方(子どもが一人で過ごすことができる部屋や感覚遊具を設置できる場所、相談室が少ないなど)に課題を感じています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設全体やそれぞれの部屋の狭さが要因と考えられます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもをグループ分けして活動を行ったり、他の部屋やホールを使用したりして一人当たりのスペースを確保していきます。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	子ども発達支援センター愛	公表日	年 月 日	保護者等数 (児童数) 45	回答数 37
		利用児童数	令和6年12月5日		割合82.2%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	4			・各スペースに仕切りがあり、メリハリがついてとても良い。 ・ホールや園庭、広いテラス等の環境がとてありがたいです。 ・ホールや外での活動もあるので十分かなと思いますが、教室はもう少し広い方がのびのびできるのかなと思います。	お部屋やホール、個室などを使用して工夫していききたいと思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	2	2	3	・困っていてすぐに職員が1人付きそってくれる。 ・配置数の少なさから、会計、書類の管理体制に不安を覚えることや子どもがケガをした際、「現場を見ていなかったの」で原因がはっきりとは分からない」と説明されたことが複数回あった。 ・ベテランの先生と新人の先生を均等に配置して欲しい。	・職員が全体を把握できるよう、見守りの配置などを見直して改善します。 ・お子さんがケガをされた場合に誰もが詳細を説明できるよう、職員間で情報共有します。 ・給食介助や公園などのお出かけの時は、他クラスの職員に補助に入ってもらいながら、個々に合わせた支援を行うことができるようにしています。子どもが安心・安全に過ごすことができるよう話し合いながら、改善していききたいと思います。 ・クラスによって経験年数の差はありますが、職種などを考慮しながら配置をしています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36	1				・絵カードを使い、おもちゃなど分かりやすくしてあって良い。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	1				・トイレがとても清潔にしてあって子どもも気に入っている。	
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	1				・絵カードでスケジュールを見せてくれるので、安心して一日過ごせている。 ・よく見てくださり楽しく過ごせるようになっています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37					・合っていると思います。	
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37					・予定時間を過ぎててもじっくり話しを聞いてくれる。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35			2		・子どもの特性に合った内容で、こちらの意見も聴きながら組んでくれる。	・クラス職員や児童発達管理責任者と話し合いながら支援計画を設定しています。個々の発達状況に合わせながら、より具体的に細やかな支援を提供できるように努めていきたいと思っています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	1				・チャレンジして欲しい事などがあると、計画に入れてくれ実行してくれる。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34	1		2		・手作業、外での活動など、いろんな事で楽しませてくれる。 ・たくさん経験をさせてくださいます。	・季節の新しい遊びや個々に合わせた活動も取り入れていけるように職員で話し合っていきたいと思います。
	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	31	2		4		・となりの保育園の子たちと遊べて良い刺激になっている。 ・園庭で一緒に遊んでいて嬉しく思いました。 ・レストランごっこ等の活動を通して保育所との交流も行われており、子供も楽しんでいました。	・保育所の行事に参加したり、会食を行っています。また、園庭で一緒に遊んだり関わりをもてるようにしています。保護者の方に一緒に活動した時の様子なども詳しくお伝えできるようにしていきたいと思っています。 ・保育所との関りはこれから増やしていきたい、保護者皆様にお知らせします。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37					・説明する時間を設けて頂き、質問にも丁寧に答えていただきました。 ・とても分かりやすく説明していただきました。		

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37				<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談にてしっかり説明していただきました。</li> <li>・目標達成できた事、現状維持な事、1つ1つ丁寧に教えてくれた。</li> </ul>	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	35	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ロバのみみ会」にて家族も参加できる勉強会があり、託児もあるので助かります。</li> <li>・いろんな支援の場を提供してくれていると思う。</li> <li>・様々な講演会で勉強することができます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロバのみみ会は、基本的に月に1回開催しています。ペアレントトレーニングは、今年度は休止中で来年度再開予定です。</li> </ul>
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	33	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳や送迎時に伝え合うことが出来ていると思います。</li> <li>・どの職員と話してもちゃんと情報共有ができていて助かる。</li> <li>・よく伝えていただいています。</li> <li>・日頃から情報共有できている。</li> <li>・送迎時に詳しくその日の様子を教えてもらえるので、子どもの様子がよく分かり、安心できる。</li> <li>・例えば、顔を傷つけられたとして、被害にあった親だけでなく、加害者の親にも伝達して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見ありがとうございます。今後も、継続して保護者の方やお子さんが安心して通っていただくことができるように努めていきたいと思っています。</li> <li>・お辛い思いをお伝えしていただきありがとうございます。ご指摘いただいたことを真摯に受け止め、今後は、対処法や改善策を園全体で考えていきたいと思っています。</li> </ul>
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談の時期以外でも、相談事があると時間を作ってくれる。</li> <li>・家にも来てくださり心強いです。</li> <li>・定期的に面談が行われている。</li> </ul>	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37				<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを否定せず、寄り添って支援してくれていると思う。</li> </ul>	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	33	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス会でも保護者同士が交流しやすいような時間が設けられていて、他の保護者の方とゆっくりお話できてよかったです。</li> <li>・家族やきょうだいの悩みでもちゃんと聞いてくれる。</li> <li>・行事などで交流できて嬉しいです。</li> <li>・茶話会等情報交換の場が設けられています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子療育や父母の会等、折りを見て機会を増やしていきたいです。</li> </ul>
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている事など相談すると、どのように対応したら良いか考えてくれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談や申入れの際は、職員にお声掛けいただければ、迅速な対応を心がけます。</li> </ul>
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・指差しなどで子どもに合わせた伝達をしてくれる。</li> </ul>	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	4	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にお便り等で発信されていて、確認しやすいです。</li> <li>・急ぎのお知らせは連絡アプリ、または電話をかけてくれて伝えてくれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス日より、園日より配布しています。園日よりハグノートでお知らせするようになりました。緊急時は、ハグノートとともに電話連絡をしています。</li> <li>・今後とも情報開示に努めます。</li> </ul>
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そう思います。</li> </ul>		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	6		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこに避難するか掲示してある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルは策定しています。</li> <li>・緊急時の対応については、話し合ったものをマニュアルにして各クラスで保管しています。怪我や事故についても職員で話し合い、再発防止に努めています。</li> <li>・子どもが安心して通うことができるように、さらに話し合いや改善に努めていきたいと思っています。</li> </ul>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33	1		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練が行われたことや内容も教えて頂いているので安心感があります。</li> <li>・訓練で習った事を帰ってから教えてくれる。身に付いているようで嬉しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、避難訓練を行っています。災害発生に備えて訓練や具体的な対応策を固めていきたいと思っています。</li> <li>・今年度は、地域の防災訓練にも参加できました。</li> </ul>
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	3		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめ説明をしてくれたり、安心させてもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画の周知に努めます。</li> <li>・常に子どもたちの安全、安心を心がけながら支援していきます。</li> </ul>

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	1	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょっとした備でも、その時の状況や子どもの気持ちなど細かく教えてくれる。</li> <li>・怪我をさせてしまった本人の親にも一言くらい話してほしい。</li> </ul>	・保護者の方に具体的な改善策を含め丁寧に説明を行い、子どもが安心・安全に通うことができるように改善していきたいと思います。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	36	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもは先生のごことが大好きでいつも楽しく安心感を持って通所することができているので、いつも支えて頂いてとても感謝しております。</li> <li>・困り事はすぐ先生に伝えられる。すぐく安心していると思う。</li> <li>・家のように過ごしているようで、本当に安心できる場なのだと感じます。</li> </ul>	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	35	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても楽しみにしている。先生もお友達もみんな大好き。</li> <li>・いつも楽しみに通っている。</li> <li>・とても楽しそうに通っています。親子共に楽しく通わせていただいています。ありがとうございます。</li> </ul>	・これから安心感を持って通所していただけるよう、職員一同頑張ってお参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもだけでなく、親にも寄り添ってくれ、家族みんな満足している。</li> <li>・大変満足している。</li> <li>・家族も含めて支えていただいています。ありがとうございます。</li> </ul>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	子ども発達支援センター愛		公表日		年	月	日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・小集団での遊びや活動を増やしたり、ホールや園庭を活用して身体を動かす時間や場所を確保しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・給食時や公園に出かける時などは、他クラスの職員が補助に入ること、職員数を確保しながら安全に療育を行えるようにしています。	・職員数の人数は規定に沿った配置になっていますが、登園人数や子どもたちの特性によっては不十分だと感じることもあります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・遊びや活動の場をパーテーションや柵などで区切ることで構造化をしています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・汚れた場所はすぐに清掃したり、エアコンや扇風機の清掃等隅々まで掃除をするよう気をつけています。また、子ども達の活動に合わせて物の配置を替えるなど、日々工夫しています。	・収納スペースの少なさや部屋の狭さのわりに物が多いこともありますが、部屋の環境や棚を整理して物や玩具の場所を分かりやすくしたり、部屋内だけでなく他の収納場所に物を片付けたり、空いた空間を利用しながら収納の仕方を工夫するなどの改善を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・活動によりグループ分けをしたり、午後の活動を個室や他クラスの部屋などを利用しながら行っています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・今年度より、第三者立会いのもと話し合いを行っています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>					
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・家庭訪問時の様子や支援計画について、クラス職員で情報共有を行っています。	・共有はしていますが、常に計画に沿って支援できているとは言えないこともあるため、今後は計画に沿うよう努めていきます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			・ツールは使用していないため、今後は使用して確認していきたいと思います。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>					

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			・新しい季節の遊びや個々に合わせた活動も取り入れていけるように、職員間で話し合いを行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・前日や当日に、療育内容や個別に対応する場合の職員体制や活動の進め方等を話し合っています。	・パートさんや当日補助で入る職員に対しては、情報共有が不十分な時があるため、事前に情報共有を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・その日の出来事や反省点などを話し合いを行い、今後の療育や子どもとの関わりの中で活かせるように情報共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・保護者や職員間で、情報共有をした内容などを書面で記録することもあります。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○				

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や連絡帳で日々の子どもの様子や支援内容について話しながら、保護者の方と情報共有できるように努めています。</li> <li>・送迎に来る保護者には、口頭でその日の出来事や最近の様子を共有するようにしています。バス通園の保護者とは、直接話をする機会が少ないため、連絡帳で密に日々の様子を共有したり、園に送迎に来る機会がある時に直接最近の様子を話すように心掛けています。また、場合によっては個別に話をする時間を設けるようにしています。</li> </ul>	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談事や悩み事に対して、親身に話を伺うようにしていますが、職員の知識や技量の未熟さから対応が難しいと判断した際は、クラス職員や相談員などと情報共有をして助言や意見を交換しながら保護者に対応するようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続的に専門的な知識を身に付けながら、ご相談に対応していきたいと思います。</li> </ul>
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、きょうだい同士との交流する機会を考えていきたいと思います。</li> </ul>
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・場合に応じて、クラス職員、施設長をはじめとする管理職の職員を交えて早急に対応するようにしています。</li> </ul>	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カードや実物など視覚的情報ツールなどを使いながら、意思疎通ができるような配慮をしています。</li> </ul>	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で実施できていなかったため、今後は考えていきたいと思います。</li> </ul>
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に防災訓練を行い、その都度、改善策や課題について話し合いをしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に災害が起きた際、職員、子どもともに訓練以上のパニックに陥ることが予想されるため、普段から「もしも」を想定して過ごす必要があります。また、靴箱が近くないことや普段子どもが裸足で過ごしていること、パニックで動けなくなった時のことなど、今後の課題とされることが多くあるため、それについての対応策も考えていきます。</li> <li>・保護者に周知できていないこともあるため、今後どういった形で周知していくかを話し合っていきます。</li> </ul>
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬の状況やてんかん発作の対応などについてまとめものを各クラス保管しています。また、病院を受診した際に、服薬の変更や主治医との話を保護者の方に記入してもらい、情報共有を行っています。</li> <li>・保護者と服薬の仕方やどのような状態で摂取するかなどを、書面だけでなく直接話す機会を設けています。また、園では定期的に子どもの様子を観察し、保護者から前日や休日の様子などに変化がなかったかなど、家庭での様子も聞きながら対応するようにしています。</li> </ul>	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内で情報共有しています。</li> </ul>	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修で虐待防止について資質向上に努めています。</li> </ul>	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			